

平成29年度 高校就職説明会

日 程 平成 29 年 12 月 20 日 (水) 15:30 ~
場 所 長崎県立中五島高等学校

1.開会

2.あいさつ

(一社)長崎県建設業協会 五島支部 理事 坂本 幸二 氏((株)坂本組 代表取締役)

3.卒業生からの在校生へのメッセージ

大宝建設 株式会社 西村 幸一 氏 (平成 14 年 3 月 卒業)

4.長崎県における社会資本整備について

長崎県五島振興局 上五島支所 建設部 検査指導幹 笹田 幸男 氏

5.建設産業について

(一社)長崎県建設業協会 本部

パワーポイント資料及びパンフレット等による建設産業の紹介

6.その他

- ・ 質疑応答

7.閉会

(一社)長崎県建設業協会 五島支部 理事 浜田 哲男 氏((株)浜田組 代表取締役)

長崎県における 社会資本整備について



長崎県五島振興局
上五島支所建設部

1

上五島支所管内の公共事業

- ①道路事業（利便性・快適性確保）
- ②河川事業（浸水・洪水被害対策）
- ③ダム事業（洪水対策・水道水確保）
- ④砂防事業（土砂災害対策）
- ⑤急傾斜地崩壊対策事業（崖崩れ対策）
- ⑥港湾事業（防災対策）

2

県が行っている公共事業（道路事業）



①道路事業（利便性・快適性確保）
 国道384号 道路改良工事
 トンネル延長 794m

3

県が行っている公共事業（道路事業）

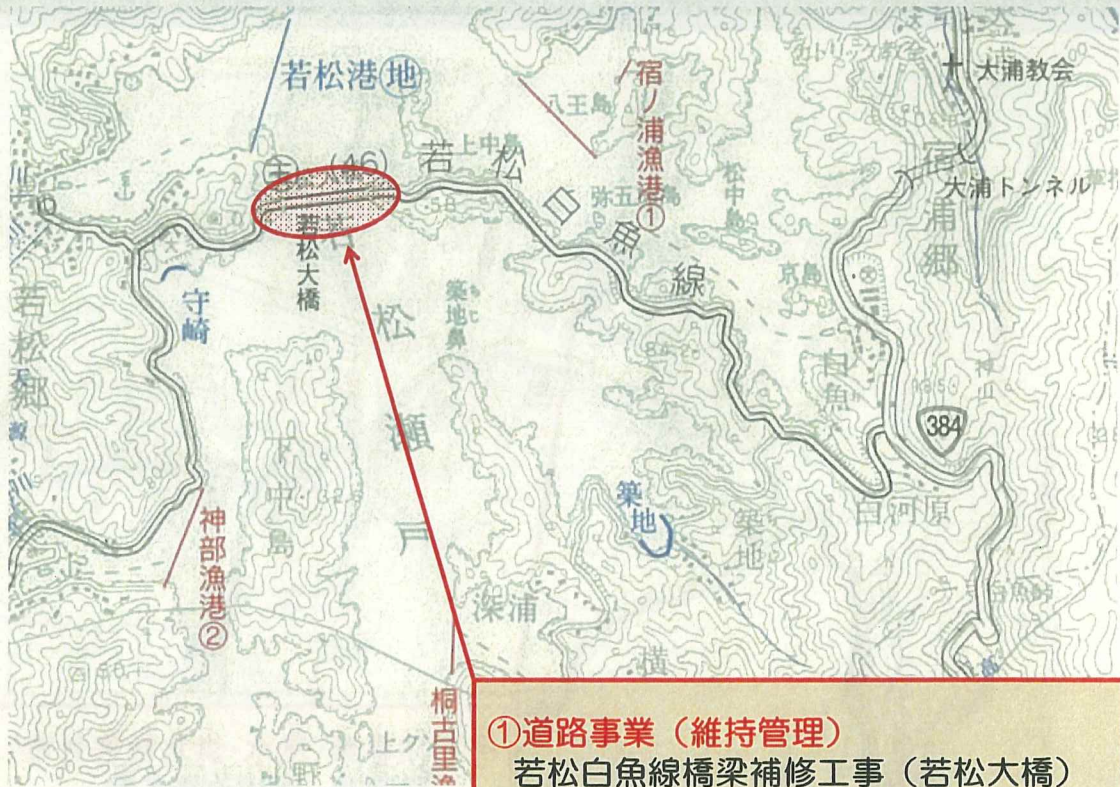
一般国道384号道路改良工事（三日ノ浦工区）
 新上五島町 三日ノ浦郷～相河郷

通勤・通学など日常生活の利便性を向上するため、狭くてすれ違いが困難な道路や見透しが悪い箇所の道路の改良を行っています。



4

県が行っている公共事業（道路事業）



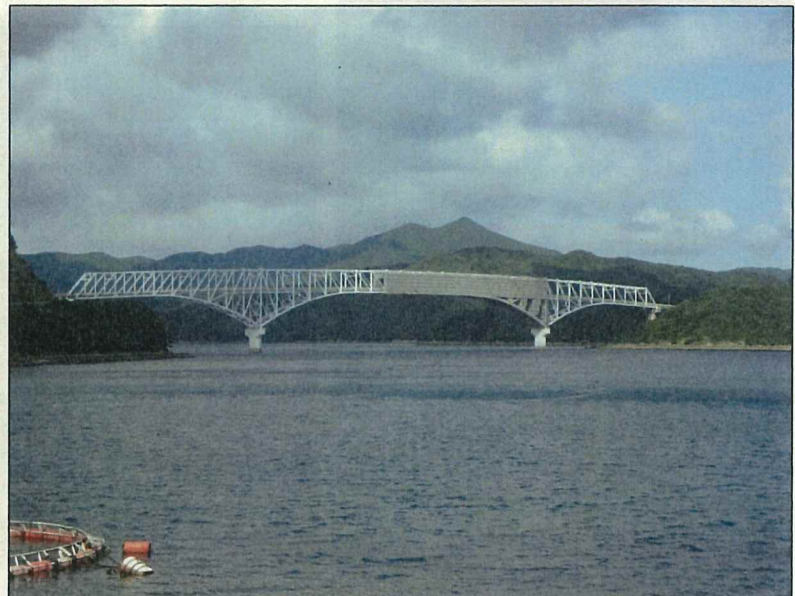
5

県が行っている公共事業（道路事業）

主要地方道若松白魚線橋梁補修工事（若松大橋）

新上五島町 若松郷

通行車両の安全と地域住民の生活道路を確保するため、潮風の影響を受けやすい環境による塗装の劣化やひび割れの補修を行っています。



6

県が行っている公共事業（河川事業）



7

県が行っている公共事業（河川事業）

釣道川河川改修工事

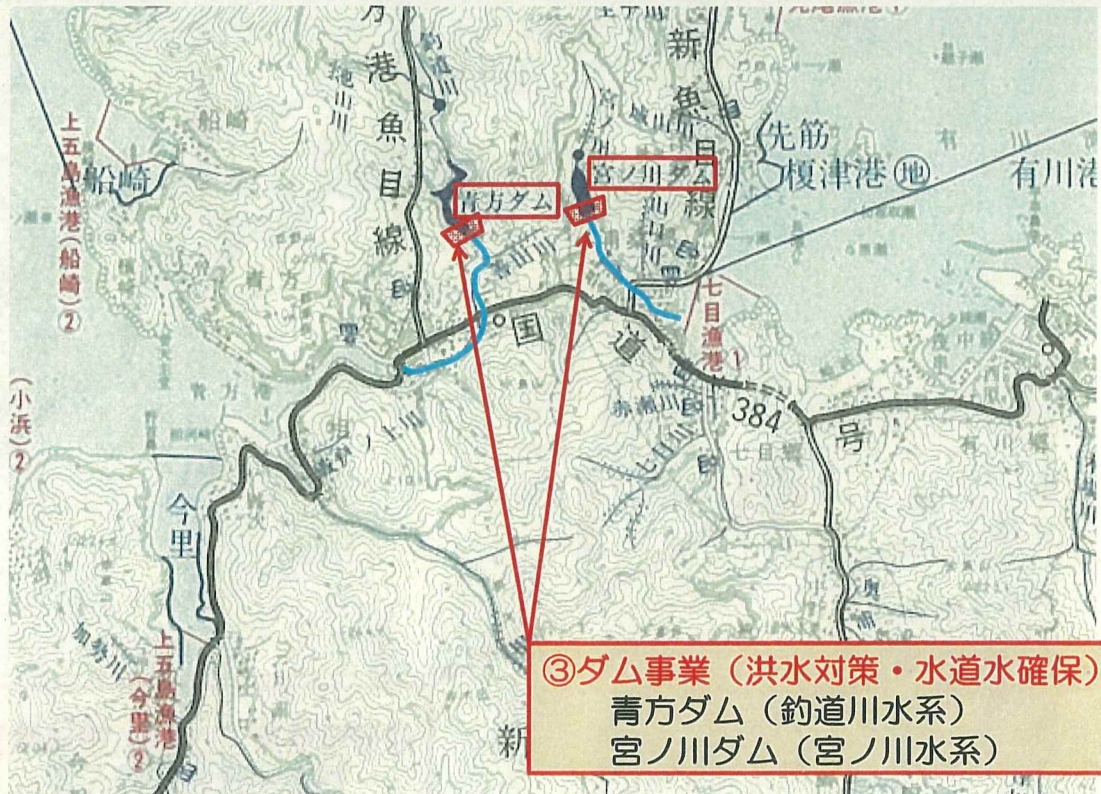
新上五島町 青方郷

釣道川は、平成元年9月の豪雨により、浸水家屋249棟という大規模な災害が発生したことを契機に改修を行っています。



8

県が行っている公共事業（ダム事業）



9

県が行っている公共事業（ダム事業）

宮ノ川ダム（H12年完成）
高さ32m、長さ191m（洪水調節、水道水確保）

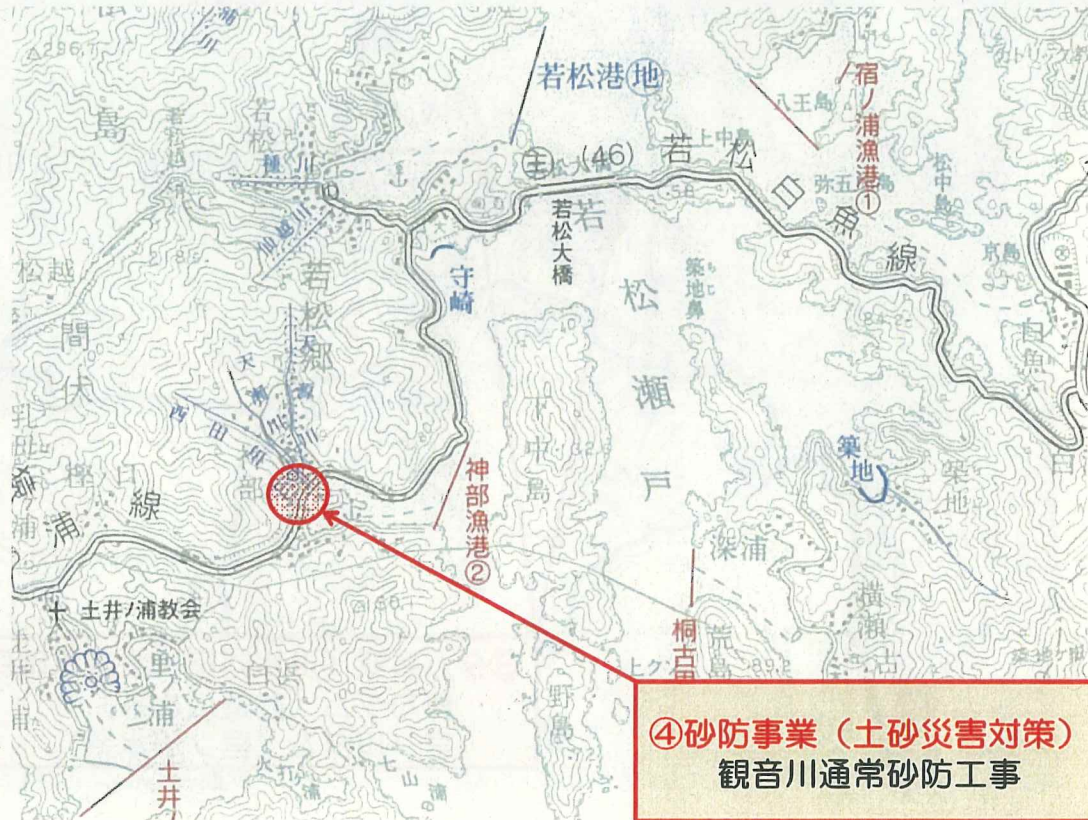


青方ダム（S59年完成）
高さ27.5m、長さ131m（洪水調節）



10

県が行っている公共事業（砂防事業）



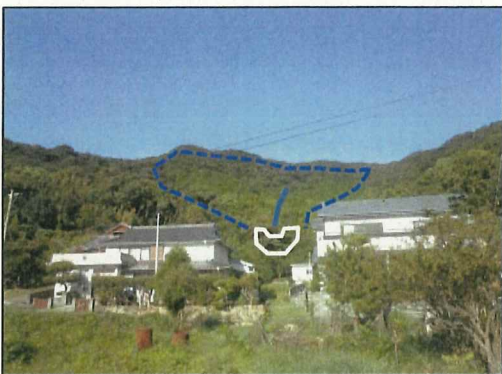
11

県が行っている公共事業（砂防事業）

観音川通常砂防工事

新上五島町 若松郷

上流からの土砂の流出及び土砂とともに流出する流木による下流の人家、道路等への被害を防止する砂防工事を行っています。



【保全対象】

人家6戸
公民館（避難場所）1棟
消防詰所1棟
県道60m



12

【整備効果事例】須川第一砂防堰堤（福岡市朝倉市）

- 福岡県朝倉市須川では、豪雨により多数の斜面崩壊等が発生したが、既設砂防堰堤が土砂・流木を捕捉した。流木捕捉量は16,500m³（推定値、空隙込み）。
- これにより、下流の人家等への被害が軽減されたと推測される。



砂防堰堤下流の保全対象
（工場、人家 等）



須川第1砂防堰堤
堰堤高7.0m、堰堤長74.8m

妙見川上流域（平成29年7月14日撮影）

13

【整備効果事例】須川第一砂防堰堤（福岡市朝倉市）



写真は2枚とも（国研）土木研究所
土砂管理研究G 火山・土石流チーム撮影

須川第1砂防堰堤
下流から本堤を撮影



須川第1砂防堰堤
堆砂域に堆積した
流木を撮影

14

県が行っている公共事業（崖崩れ対策事業）



15

県が行っている公共事業（崖崩れ対策事業）



小奈良尾地区急傾斜地崩壊対策工事

新上五島町 奈良尾郷

急傾斜地（傾斜の角度が30度以上で高さが5m以上）の斜面が崩壊を防ぎ、直下の人家等への被害を防止する工事を行っています。



【保全対象】

人家22戸

（公共施設）

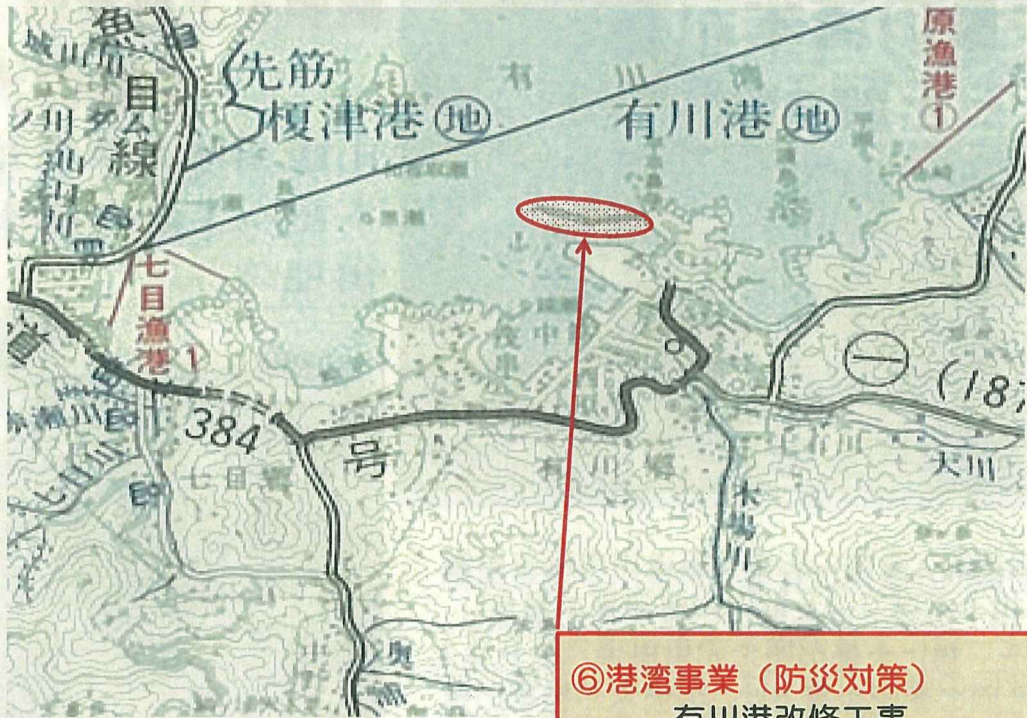
県道220m

臨港道路250m

上五島病院付属診療所

16

県が行っている公共事業（港湾事業）



17

県が行っている公共事業（港湾事業）



平成17年9月6日
14号台風により被災した防波堤

有川港改修工事 新上五島町 有川郷

地域の防災拠点として港湾施設と港湾機能を保全し、船舶や背後住民の安全安心を確保するため防波堤の改良工事を行っています。



18

平成29年7月九州北部豪雨災害より

大量の流木が まちを襲う



記録的な豪雨の影響で筑後川中流右岸側の支川上流域では多数の山腹崩壊が発生し、土砂と一緒に大量の流木が市街地へ流れ込んだ。今回の豪雨災害ではこの流木が被害の拡大を招いた。福岡県朝倉市の三連水車も被災するなど、各地で甚大な被害が発生した。

観測史上最大の 2倍の大雨

山腹崩壊が多数発生し、
大量の土砂や流木が市街地へ



19

平成29年7月九州北部豪雨災害より

地域の建設業者が 故郷を守る



災害発生直後から被害の拡大を防ぐため、重機による土のう設置や流木撤去など過酷な災害現場の中で昼夜を問わず復旧作業に取り組んだ。建設業者は、地域の守り手としての重要な役割を担っている。

地域の建設業者が
昼夜を問わず復旧
作業に取り組む



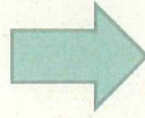
20

国の取り組み

ICT建機による**施工**が拡大



丁張りによる施工



ICT土工用積算基準の
導入により、ICT建機
による施工が拡大



ICT建機による施工

○生産性を5割向上させることで、

- ・企業の経営環境を改善
- ・現場で働く方々の賃金水準の向上
- ・安定した休暇の取得
- ・安全な現場

の実現を目指しています。

21

終わりに

- 県が取り組んでいる公共事業は、地域の皆さんの生活を支え、安全安心に暮らしていくために必要なものです。
- 道路や河川などの公共施設を建設するのは、建設業者の皆様です。
公共施設の建設、修繕などの維持管理に携わり、非常に重要な役割を担っています。
- 自然災害発生時には1番に駆けつけ、道を開くのは建設業であり、どんなに時代が変わろうとも絶対必要な業種であることを知って欲しい。
- ◎土木の仕事に興味を持ち、将来の進路選択の一つに考えて頂ければ幸いです。

22